



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月13日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL <https://www.torex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 日笠 基 TEL 03-6222-2852
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,786	100.4	867	△15.3	645	△38.7	2,821	295.4
28年3月期第3四半期	7,879	6.7	1,024	0.0	1,051	△21.6	713	△19.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 3,130百万円 (366.1%) 28年3月期第3四半期 671百万円 (△42.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	292.19	286.67
28年3月期第3四半期	67.15	65.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	26,378	15,254	42.7	1,180.78
28年3月期	12,972	10,928	83.9	1,022.30

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,263百万円 28年3月期 10,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
29年3月期	—	16.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	97.7	1,200	5.3	900	△7.3	2,900	399.7	300.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規1社（社名 フェニテックセミコンダクター株式会社）、除外1社（社名）

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	9,539,200株	28年3月期	10,648,400株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	580,838株	28年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	9,657,461株	28年3月期3Q	10,625,207株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復が続きましたが、英国のEU離脱、中国及びその他新興国の成長鈍化、米国の新大統領選挙等の影響により先行きの不透明感は拭えない状況となっております。

わが国経済におきましては、所得や雇用の改善により緩やかな回復基調となっておりますが、引き続き為替相場や株式市場が外部環境に大きく左右されるなど、経済環境は不安定な状況となっております。

半導体業界におきましては、PCの需要低迷、スマートフォン等の成長の鈍化に対して車載関連機器の堅調な需要、ICT関連機器等の需要の回復により、全体的に引き続き回復傾向にあります。

このような環境のなかで、当社グループは、「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」という経営理念のもと、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・ 関西技術センターの開設をはじめとした開発リソースの拡充に向けた投資を実施し、戦略的提携先との共同開発を進める等、差別化の出来る高付加価値な製品を迅速にターゲット市場へ投入していくための施策を推進しました。
- ・ 製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内の製造子会社との協力的体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・ 米国デザインセンターの開設や海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速な対応に努めました。
- ・ 品質保証部門における増員及び設備投資を実施するとともに、協力工場等との一層の関係強化を進め、ターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認証制度への対応を図りました。
- ・ 子会社化したフェニテックセミコンダクター社とのシナジー効果を高め、グループ収益の最大化につなげるため、相互の人的交流や共同プロジェクトを推進しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高157億86百万円（前年同期比100.4%増）、営業利益8億67百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益6億45百万円（前年同期比38.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益28億21百万円（前年同期比295.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当第3四半期連結累計期間において、フェニテックセミコンダクター株式会社（以下、「PTS」といいます。）を連結の範囲に含め、当該会社の事業活動を従来の地域セグメント「日本」に含めております。

①日本

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に通信機器等の分野向けの売上が低迷した一方、車載機器、産業機器等の分野向けの売上が増加したことにより、106億48百万円（前年同期比381.8%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間よりPTSを含めていることにより、売上高が82億8百万円増加しております。

②アジア

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に車載機器、デジタル家電、ウェアラブル機器等の分野向けの売上が増加した一方、PC機器等の分野向けの売上が低迷したことにより、41億10百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

③欧州

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が増加した一方、デジタル家電等の分野向けの売上が低迷したことにより、5億73百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

④北米

当第3四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が増加した一方、家電等の分野向けの売上が低迷したことにより、4億54百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は198億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億36百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたこと等により、現金及び預金が43億42百万円増加、受取手形及び売掛金が18億67百万円増加、たな卸資産が22億2百万円増加したことによるものであります。固定資産は65億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億68百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたこと等により、有形固定資産が32億51百万円増加、無形固定資産が28百万円増加、投資その他の資産が10億88百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、263億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ134億5百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は72億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億76百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたこと等により、短期借入金が31億円、1年内返済予定の長期借入金が12億51百万円、1年内償還予定の社債が5億円増加したことによるものであります。固定負債は38億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億3百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたこと等により、長期借入金が28億61百万円、退職給付に係る負債が2億77百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、111億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億79百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は152億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億25百万円増加いたしました。これは主にPTSを連結の範囲に含めたこと等により利益剰余金が25億37百万円、非支配株主持分が39億47百万円増加し、自己株式が9億24百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.7%（前連結会計年度末は83.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の実績等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年2月13日）公表いたしました「平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間に、フェニテックセミコンダクター株式会社について、株式の取得により子会社になったため、新たに連結の範囲に含めることとしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,687千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,616,828	10,959,594
受取手形及び売掛金	1,921,877	3,789,039
有価証券	300,000	420,184
たな卸資産	1,678,821	3,881,035
その他	301,519	806,369
貸倒引当金	△1,424	△1,941
流動資産合計	10,817,621	19,854,282
固定資産		
有形固定資産	1,120,046	4,371,202
無形固定資産	203,813	232,630
投資その他の資産		
その他	858,076	1,947,813
貸倒引当金	△26,686	△27,609
投資その他の資産合計	831,390	1,920,203
固定資産合計	2,155,250	6,524,036
資産合計	12,972,871	26,378,318
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797,787	932,985
短期借入金	3,366	3,103,487
1年内返済予定の長期借入金	—	1,251,485
1年内償還予定の社債	—	500,000
未払法人税等	133,315	157,227
賞与引当金	96,695	99,704
その他	591,223	1,254,023
流動負債合計	1,622,388	7,298,914
固定負債		
長期借入金	—	2,861,308
退職給付に係る負債	236,616	513,691
役員退職慰労引当金	9,095	—
その他	175,781	449,824
固定負債合計	421,494	3,824,824
負債合計	2,043,883	11,123,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,585	1,838,178
資本剰余金	4,286,559	2,876,527
利益剰余金	4,690,819	7,228,231
自己株式	—	△924,121
株主資本合計	10,796,965	11,018,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31,266	99,876
為替換算調整勘定	120,242	145,036
その他の包括利益累計額合計	88,975	244,912
非支配株主持分	43,047	3,990,852
純資産合計	10,928,988	15,254,580
負債純資産合計	12,972,871	26,378,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,879,525	15,786,991
売上原価	4,017,950	11,505,000
売上総利益	3,861,575	4,281,991
販売費及び一般管理費	2,837,163	3,414,053
営業利益	1,024,412	867,937
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,589	28,436
為替差益	37,211	—
ロイヤリティ収入	4,199	6,325
その他	7,681	19,906
営業外収益合計	59,681	54,668
営業外費用		
支払利息	827	31,447
為替差損	—	211,738
支払手数料	28,000	8,000
その他	3,477	26,395
営業外費用合計	32,304	277,581
経常利益	1,051,789	645,025
特別利益		
負ののれん発生益	—	1,966,967
受取補償金	—	518,872
受取保険金	104,610	20,685
特別利益合計	104,610	2,506,525
特別損失		
災害による損失	—	14,961
損害補償損失引当金繰入	110,000	—
特別損失合計	110,000	14,961
税金等調整前四半期純利益	1,046,399	3,136,589
法人税等	331,732	247,274
四半期純利益	714,666	2,889,314
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,092	67,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	713,574	2,821,884

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	714,666	2,889,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,988	214,406
為替換算調整勘定	△30,060	27,149
その他の包括利益合計	△43,048	241,556
四半期包括利益	671,617	3,130,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	670,393	2,977,821
非支配株主に係る四半期包括利益	1,224	153,050

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結累計期間より、フェニテックセミコンダクター株式会社を連結子会社としております。この結果、特別利益としての負ののれん発生益1,966,967千円を計上したこと等により、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が2,537,411千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において利益剰余金が7,228,231千円となっております。

また、フェニテックセミコンダクター株式会社が当社株式1,760,000株を保有していたことにより、第2四半期連結累計期間末において自己株式が1,428,147千円となっておりますが、第3四半期連結会計期間において当社が全株を買い取り、そのうち1,160,000株を消却したこと等により、当第3四半期連結累計期間末において自己株式が924,121千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	2,210,063	4,565,532	615,941	487,988	7,879,525	—	7,879,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,900,123	349,191	34,826	14,034	5,298,175	△5,298,175	—
計	7,110,187	4,914,723	650,767	502,022	13,177,701	△5,298,175	7,879,525
セグメント利益又は損失(△)	912,202	78,628	33,931	△21,559	1,003,202	21,209	1,024,412

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額21,209千円には、セグメント間取引消去21,209千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域(シフト・イン・ベース)とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	3,272,281	2,785,846	1,189,280	632,116	7,879,525

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	10,648,735	4,110,133	573,528	454,593	15,786,991	—	15,786,991
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,470,138	284,374	27,204	28,226	4,809,944	△4,809,944	—
計	15,118,874	4,394,508	600,733	482,820	20,596,936	△4,809,944	15,786,991
セグメント利益	715,313	114,603	26,348	12,157	868,422	△484	867,937

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△484千円には、セグメント間取引消去△484千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。電子部品の販売においては、デザイン・イン・ベースと、当社の製品が納品されて電子機器等の製造に使用される地域(シフト・イン・ベース)とが異なることがあります。セグメント情報においてはシフト・イン・ベースで地域別の情報を集計しておりますが、デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	11,606,417	2,344,680	1,055,716	780,176	15,786,991

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結累計期間において、フェニテックセミコンダクター株式会社の普通株式を取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「日本」のセグメント資産が15,317,697千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「日本」セグメントにおいて、フェニテックセミコンダクター株式会社の株式を取得し、新たに連結子会社としました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,966,967千円です。